

# 主要企業の春闘回答状況

	社名	要求	回答
自動車	トヨタ	職種、職位別に 1600~4900円	満額
	日産	総額 8000円	
	ホンダ	ベア・手当 3000円	
電機	日立製作所	ベア 3000円	満額
	東芝		
	NEC		
	富士通		ベア 1500円
	三菱電機		
	パナソニック		
鉄鋼	日本製鉄	ベア 22年度 3500円 23年度 3500円	ベア 22年度 3000円 23年度 2000円
	JFEスチール		
	神戸製鋼所		
造船重機	三菱重工業	ベア 3500円	ベア 1500円
	川崎重工業		
	IHI		
通信	NTTグループ	ベア相当 6800円	ベア相当 2200円

左の表は、3月16日（水）の読売新聞のオンライン記事に掲載されていたものです。自動車や電機などの大手企業は、コロナ禍からの業績回復を受け、基本給を底上げするベースアップや年間一時金の要求に対する満額回答が相次ぎました。主要企業全体の賃上げ率は、焦点となっていた2%を超える勢いです。

## JR九州の回答

**ベア 0円 一時金 3万円**

**※国労は6000円のベースアップと一時金10万円を要求**

本当に情けない。当然、こうしたデータを持ち出すと、「JR九州は主要企業ではない」「わが社が足元にも及ばないような超一流企業と比べても参考にならない」「一時金の3万円が出るだけでもありがたい」といった意見が必ず返ってきます。しかし、「一流」の企業と比べずに一体どこと比べるのでしょうか？ブラック企業と比べても、労働条件のさらなる切り下げを助長するだけ。何より、組合側の要求と会社の回答にこれほど乖離があるのは、一流二流問わず、他社の回答状況と比較しても異常としか言えません。コロナ禍からの業績回復を受けているのは、なにも「主要企業」だけではなく、わが社も同じ。また、具体的な数字を出すと、BPRで削ったのが**140億円**。ボーナス半減×3回で**70~100万円**の人件費カット（社員を8000人とすると**56億~80億円**）。さらには、内部留保の存在、合理化による労働強化や職場環境の悪化等を加味すると、組合の要求は至極真当です。今回の一時金にしても、会社の持ち出しは3万円×8000人で**2億4000万円**で、私たちから巻き上げた額に比べたら痛くもかゆくもありません。小学校の算数ですね。「出るだけ良かった」と言えば、会社は「1円でも出せば問題ない」と思うだけ。そして「先行き不透明」の中、今度は「博多駅空都市構想」といったものが計画されているらしく、端からこのために「コロナ」を利用し、社員に犠牲を強いてきたのは明白です。結局は、**会社が現場の労働環境を「危機的状況」にすることで、あたかも組織全体が「危機的状況」に陥っているかのように印象操作を行い、それをもって搾取しまくるといった極めて単純かつ悪質な構図**。不誠実丸出しとしか言えません。